

秋田県内在住の産業カウンセラーの皆さん、こんにちは！ 回覧板夏号をお届けします！

リレー投稿『思うこと』 - 18 -

『思うこと』

中田 美英子

中学1年のとき、地区の防犯弁論大会で優勝しました。学校に戻って全校生徒の前で優勝した弁論を披露したあと、校長先生から再度トロフィーを渡していただきました。

その数日後、私のクラスで生徒の財布がなくなりました。生徒指導の年配の先生が教室にやってきて、みんなに目をつぶらせて、こう言いました。「財布を取った人は正直に手を挙げろ。泥棒をやったら、防犯弁論で優勝したってなんにもならない」と。私はその言葉にとっても驚き、次いで怒りが。私が取ったと言ってるの？みんな、そう思ったよね？

その日、家に帰って台所で洗い物をしている母に後ろから話しかけました。「私、泥棒なんかしてない。みんなの前で誤解されるようなことを言われて悔しい」そう言いながら、涙が流れて止まらず……。普段であれば、私が学校や先生に対して家で不満を言うと「絶対あんたが悪い」と一蹴する母が、その時は無言で電話のところに行き、学校にかけたようで「校長先生をお願いします」という声が聞こえ、「えっ、そこまでする?!」と泣きながら焦った私。

次の日、職員室に呼ばれ、その年配の先生から「そういうつもりで言ったんでなかった。せっかく仲間が優勝したのに台無しになって残念だと思ったんだ。勘違いさせて申し訳なかった」と謝ってもらい、一件落着。

これが私の中にある記憶。

40代の頃の2年間二つ対策の仕事をしたことがあり、「心理をやる人」や若者を支援する人たちと知り合い、いろいろ学ばせていただき今でもとても感謝しています。

私が二つ対策に関わったことを、なぜか母が大変喜びました。あまり喜んで気持ちが緩んだのか、ある日「あんたのこと泥棒にした子、この間足骨折した。バチ当たったんだ」と言い出しました。この人は一体何をしゃべっているのかと口をポカンとあけて見ている私に、「覚えてないか。中学の時に財布取ったんでないかって疑われて、あんた三日も布団かぶって起きてこなくて、あと学校に行かないって言われてなんとせばいいか、大変だった。あのときに財布盗んだ子が、この前ケガしたのよ。」

私が「あのときの犯人わかったの?」と発した言葉に、ハッと我に返った母が「しまった!」という顔をしたのを覚えています。

私が驚いたのは、犯人がわかっていたこと以外にも、私自身が具合も悪くないのに3日も学校を休んだこと、自分の中の記憶が美しいものに書き換えられていたこと、そしてなにより30年も経っても娘を悲しませた人に「バチ当たった」と言い切れる自分の母のおっかなさでした。

私の記憶と母の記憶が異なっていることが、本当はもっとあるのかもしれませんが。母が亡くなった今となっては、すり合わせることもできません。もっと自分が幼いころの出来事を母と語り合っておけばよかったなあと思う、還暦の私。



県運営部・学習グループ等活動状況

◆ こまち会定例学習会

5月7日 6月4日 7月2日

各月 面接実習 事例研究 面接実習
事例研究は、こまち会会員浅沼さん
面接実習は、寺田県運営部長
に進行していただきました。

8月6日

講演「支援の場で出会った方々は」
秋田グリーンフ研究会 山内さん



◆ サキホコレ会定例学習会

日時 R4年6月26日(日)
会場 横手市男女参画センター
参加者 3名
担当 赤沼 紀美子さん
テーマ 事例検討・面接実習



◆ 秋田ふきのとう県民運動実行委員会令和4年度総会が7月27日開催されました

○秋田県の6月末までの自殺者数は、前年比較20名増と要警戒の状況、との報告。

○3年度活動報告、4年度活動計画など承認されたほか、会長が蜘蛛の糸佐藤理事長からメンタルクリニック秋田駅前稲村院長に役員改選となりました。

○研修講座も開催され、秋田県運営部から事業内容の発表がなされました。(当秋田県運営部は本団体の幹事になってます)



◆ カウンセリングスキルアップ研修予定

開催日 R4年10月23日(日)
会場 秋田テルサ
担当 県運営部長 寺田誠

HP参照

大人気の研修です！
是非ともご参加ください。
8月22日より申込開始！



◆ 11月20日(日)、県自殺対策事業として行われる、秋田大学自殺予防総合研究センター副所長佐々木久長氏による事例検討会が予定されています。詳細決まり次第お知らせいたします。

多くの方のご参加お待ちしております！



秋田県運営部への問い合わせなどにご利用ください。

県運営部長連絡先 080-9259-6005

メール jaico_akita@yahoo.co.jp
スパムメール防止のため、●を@に置き換えてご利用ください